

航空無線航行システムとの干渉検討結果について 中間報告

イー・モバイル株式会社

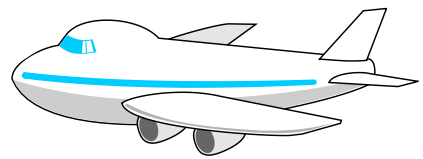
2010年9月29日



携帯電話システム



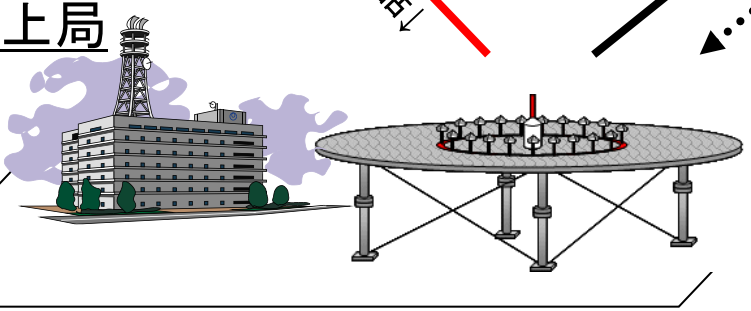
DME 航空機局



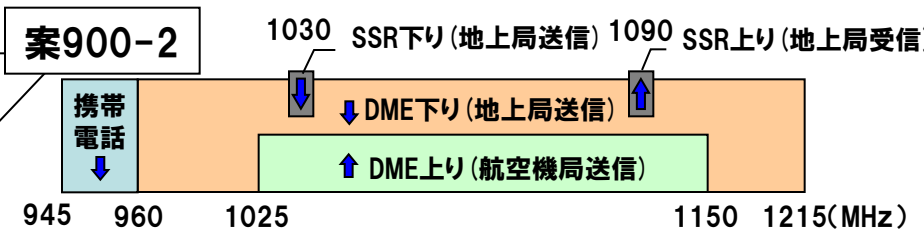
干渉波
 携帯電話↓⇒DME航空機局

DME ↓
 DME ↑

DME 地上局

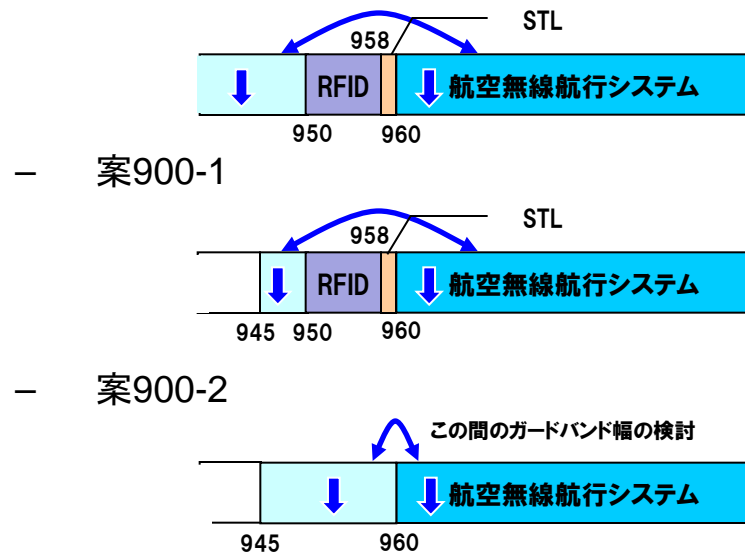


干渉波
 DME↓⇒携帯電話



- 基本方針
 - 与えられたスケジュール内で結論を出すために、干渉検討の更なる効率化が必要
 - 周波数検討WGで提示された周波数割当案のみを検討
 - 割当案において検討が重複すると考えられるものは割愛し効率化
 - 隣接システム間の最小ガードバンド幅、そのときの共存条件を求め結論を出す

- 割当検討モデル案と干渉検討パターンへの対応
 - 案700/900



案900-2のガードバンド幅の検討を行い、その結果を案700/900と案900-1に適用

干渉調査組み合わせ一覧

		与干渉					
		航空無線航行システム(DME)		携帯電話			
		DME 地上局	基地局	陸上移動中継局 屋外 移動局対向	陸上移動中継局 屋内 移動局対向	小電力レピータ 移動局対向	
被干渉	航空無線航行システム(DME)	DME 航空機局	(1)	(2)	(3)	(4)	
	携帯電話	陸上移動局		(a)			
		陸上移動中継局 基地局対向	屋外	(b)			
			屋内	(c)			
		小電力レピータ 基地局対向		(d)			

- 調査方法は過去の情報通信審議会、及び中継アドホックで検討した手法を踏襲
 - － 携帯電話 基地局→航空無線航行システム DME 航空機局
 - 1対1対向の最悪干渉モデルで最小離隔距離を算出
 - － 携帯電話 中継局→航空無線航行システム DME 航空機局
 - 1対1対向の最悪干渉モデルで最小離隔距離を算出
 - － 航空無線航行システム DME地上局→携帯電話 陸上移動局
 - 1対1対向の最悪干渉モデルで最小離隔距離を算出
 - － 航空無線航行システム DME地上局→携帯電話 中継局
 - 1対1対向の最悪干渉モデルで最小離隔距離を算出